

議 事 録

件 名：令和7年度第1回 横須賀市地域公共交通会議

日 時：令和7年8月5日（火） 13時00分～14時15分

場 所：横須賀市役所消防局庁舎4階 災害対策本部室

出席者：委員 [12名]

説明者：神奈川県政策局自治振興部地域政策課 [2名]

三浦市政策部政策課（WEB） [1名]

事務局：横須賀市都市部都市計画課 [4名]

傍聴者：[1名]

【次第】

1 開 会

- ・開会
- ・委員紹介

2 議 事

（1）神奈川版ライドシェア（かなライド@みうら）の取組について（報告）

三 浦 市：資料説明【資料1】

会 長：今年度も試行運行として進むということですが、今後の見通しとして、どうなれば本格運行へ移行するのか教えてください。

三 浦 市：三浦市としては、元々タクシー事業者主体の独立採算でのライドシェア導入を目指していますので、ある段階で本格実施ということは考えています。そのためには、さらなる利用を促進し、収支を整えていく必要があるということと、道路運送法第78条第3号に基づく委託での許可をしていただけるように、国に対し、さらに要望を重ねていく必要があると考えております。

会 長：市として、あとどれぐらい利用が増えるのが理想と考えていますか。

三 浦 市：現状1日当たりの平均利用件数は3回から4回で、収支がマイナス120万円ですので、利用件数を4回、5回と少しでも上向きにしていける必要があると考えています。

会長：ビジネスとしては、何人に乗っていただきたいというところはあるでしょうが、地域公共交通として、夜間タクシーになかなか乗れないという方々にどう手を差し伸べられるか、そしてそれをどう継続できるかだと思います。

試行運行を続けるに当たっては、乗っている方のアンケートだけではなく、乗っていない方にどうアプローチすれば乗っていただけるかなどの分析もあると良いと思います。

それでは、1 つ目の議事に関しては以上とさせていただきます。

三浦市におかれましては、ここで退出いただくことになります。

どうもありがとうございました。

（２）横須賀市路線バス自動運転導入プロジェクトについて（報告）

事務局・京急バス：資料説明【資料２】

委員：他の地域では、連節バスを導入している所がありますが、今回連節バスは検討しなかったのでしょうか。また、2 台連なって走行するということですが、1 台目と2 台目の車両間隔は、どのくらいの距離を想定しているのでしょうか。

京急バス：連節バスを導入したい気持ちもありますが、車庫の形状や道路環境などふさわしくない部分が多く、導入できていない状況です。

隊列走行の車間については、東広島市の例では 20m となっています。ただ、もともと 15m でも考えられていましたので、少し縮めることも検討しながら、他の交通への影響が少ない形で実施していきたいと考えております。

委員：1 台目と 2 台目は、制御自体は連動していますか。

京急バス：連動しています。

委員：連動していると、前の車に何か支障・事故があった場合は、後ろの車も一緒に止まってしまうということですか。また、後ろの車に何かあった時は、前の車はどうなるのでしょうか。

京急バス：前の車両に支障等があった場合は、後ろの車両も止まります。後ろの車両に支障があった場合については、細かいところはまだ把握できていませんが、後ろの車両を置いていかないようにしなければならぬと考えています。

委員：車間距離が 20m ぐらいになると、横断歩道で 1 台目が通過する時は歩行者がいなかったけれど、2 台目が通過する前に歩行者が現れた場合、どうなるのでしょうか。もし、2 台目が止まった場合、20m 先の 1 台目も止まる想定でよろしいですか。

京急バス：東広島市では、基本的には信号機付きの横断歩道ばかりであったのですが、横須賀市内では違う状況もありますので、そのあたりの課題抽出を含めて今年度取り組んでいきたいと考えています。

委員：場合によっては、横断する歩行者がいるにも関わらず後ろ車両が止まらないということも想定されるということですか。

京急バス：今の運用では想定もされますが、それではいけないので、その対応を考えて行っています。

委員：車両を改造する中で、車内は通常の路線バスと同じでしょうか。また、着席のみやシートベルト着用などの制限は設けますか。

京急バス：車内の改造については、自動制御する機械を乗せる関係で席を1つ潰さなければなりません。それ以外の改造は基本的にはありません。立席での運行は、法律的な制約はないと聞いてはいますが、今は認められてはいないので、着席にてご乗車いただく形を想定しています。

委員：他のドライバーが、自動運転車両は安全に止まるからといって、割り込みや右折を先にしたりすることで、突然止まることがあろうかと思います。車内の事故防止という点では、運転士が手動で運転している時よりも、シートベルトの着用などが必要ではないかと思います。

京急バス：その辺りは懸念されますので、実証実験と社会受容性という意味でも自動運行していることを知っていただくところから始めていきたいと考えています。

会長：日本中で自動運転の実証実験が行われているので、今、ご発言があったようなことに関しても様々な知見があると思います。

東広島市で実証実験をした区間に関しては、ほとんどが片側2車線道路で、信号機付きの横断歩道しかありませんでした。時速40km程で走行していることもあり、車両間隔が20mあったとしても、1台目が行った後に渡ろうと思う感じではありませんでした。ただ横須賀市は、東広島市に比べると道路環境がかなり厳しくなりますので、きっといくつか課題があるだろうと思います。

その時に他の地域の良いところは真似し、市民の方々にも意見を出してもらいながら検証を進めていただければと期待しています。

実証実験の結果報告だけではなく、進捗状況や苦労している点などもこの会議で継続的に報告していただければと思います。

それでは、2つ目の議事に関しては以上とさせていただきます。

（３）ハマちゃんバスの運行実績について（報告）

事務局：資料説明【資料３】

会長：混雑の様子は、またチラシを紙で地域に配布するのでしょうか。

事務局：混雑状況については、再度検証した内容を反映して、そのように報告を続けていきたいと考えています。

会長：チラシは、地域の全てのお宅に配布するのでしょうか。

事務局：今回に関しては、市の職員がハマちゃんバスの停留所で待っている方に混雑状況の説明をしながら直接チラシをお渡ししようと考えています。

会長：世代や居住者が入れ替わることで利用者が減少している地域も見られます。ハマちゃんバスを地域全体に知ってもらい、継続して利用していただく意味でも、今利用していない地域の方や配布時たまたま乗ってない方に対しても情報が届くようにしてはいかがでしょうか。

事務局：地域の方々が集まる利用者協議会に協力をいただき、地域全体に周知ができるか話し合っていきたいと思います。

委員：始点から離れたバス停では、乗れない経験をされた方は多くいらっしゃると思います。路線沿いの町内会長は皆様協力的で、チラシを回覧板等に添えて周知できると思います。ある町内会長様は、ハマちゃんバスのニュースがあると、町内会館の掲示板などに貼ってくれます。町内の全ての人に行き渡るとするのは難しい部分もあると思いますが、町内会長を通して配布していただければ、より有効的にチラシも活用していただけるのではないかと思います。

会長：市役所の方も積極的に地域に入って連携していただければと思います。
それでは、3つ目の議事に関しては以上とさせていただきます。

（４）令和6年度湘南国際村における自動運転実証イベントについて（報告）

神奈川県：資料説明【資料４】

会長：使用した車両はいくつかの地域で自動運転の実験がされていますが、今回の実証で新しい知見や発見はありましたか。

神奈川県：地域政策課の実績としては、今回の湘南国際村しかなく、他の地域との比較はできておりません。

京急バス：新たな発見というよりは、以前の課題の再確認といったところが大きかったと思っています。

会長：湘南国際村は道路環境が良く交通量が少ないため、小型車両の自動運転は将来的な実装が考えられる場所だと思います。この先の展望や構想などがあれば教えてください。

神奈川県：地域政策課では、湘南国際村エリアの活性化を目的とし、様々な取り組みを行っており、この実証実験もその一環として位置付けております。昨年度は国の交付金を利用して実証実験を行っていましたが、今年度は予算が取れておらず、自動運転に関する取り組みは用意していません。今後は状況を見ながら検討していきたいと思っています。

会 長：自動運転かは別として、地域に小型車両が走る必要性を検証した上で、予算がないと事業が止まってしまうのでは勿体ないので、何かお金や手間がかからない仕掛けで継続していただければと思います。

それでは、4つ目の議事に関しては以上とさせていただきます。

（５）その他

事 務 局：前回会議からの取組みについて説明

横須賀市内の駅における路線バスの終発時刻【資料５】

（パソコン画面でホームページを閲覧確認）

会 長：市役所がこういう情報を出しているところは知っている限りありません。これは市民の方々にとってはすごく良いと思います。また、事業者と共有していることも大事なことだと思います。

それでは、以上で議事は終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

３ 閉 会

事 務 局：これをもちまして令和７年度第１回横須賀市地域公共交通会議を閉会とします。

次回については、横須賀市路線バス自動運転導入プロジェクトの報告など、可能であれば今年度内に開催したいと考えております。委員の皆様には引き続きご協力をお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。